

安塚区地域協議会だより

発行日：令和5年3月25日

発行人：安塚区地域協議会 会長 松苗 正二

第35号

ごあいさつ

安塚区地域協議会

会長 松苗 正二



令和4年度もあと少しで終わりを迎えるようとしております。今冬は少雪のため、春の訪れが早く、農家の方は、夏の水不足を心配されておられるのではないのでしょうか。例年と違う変化は、対応が難しく、ご苦労の多いことと思います。

また、市政における変化として、皆様から活用いただいた地域活動支援事業は、令和4年度で終了し、令和5年度から新たに地域独自の予算と名前を変えてスタートすることになりました。

地域協議会では、現在、「住みやすい安塚の在り方について」というテーマで自主的審議事項の検討を進めています。昨年5月に、住民

の皆様からアンケートへご協力いただき、その後、8月と9月には、町内会長・自治会長の皆様や区内企業、区内活動団体等の皆様を対象とした意見交換会を開催させていただきました。お忙しい中、ご参加いただきましたこと大変感謝申し上げます。

皆様からいただいたご意見を活用し、問題点を改善することが、まさに地域独自の取組であり、市が進めている地域独自の予算につながるものと考えています。ただ、皆様のご意見を形に変えることは、たやすい作業ではありません。地域独自の予算については、昨年8月に市の方針が示され、令和5年度予算から導入されることになりましたが、すぐに事業案をまとめあげて提案することは難しいというのが現状です。地域協議会では、令和6年度予算要求に間に合うよう、できることから自主的審議事項の検討を進めて参りたいと思っています。

皆様も安塚区で現在不足していると感じていることや、こんなこ

とが実現できれば、安塚区に活気が出て定住促進につながるのではないかと感じていること等ございましたら、個人・団体を問わず、地域協議会委員まで気軽に話ください。皆様と共に住みやすい安塚をつくっていけたらと思っております。



自主的審議事項

「住みやすい安塚」

の在り方について

地域協議会では、自主的審議事項の検討を進めるため、昨年5月に安塚区にお住まいの中学生以上の方を対象としたアンケートを実施しました。アンケート結果の概要については、昨年8月に発行した地域協議会だより第34号でお知らせしたとおりです。

このアンケート結果を活用し、8月から9月にかけて、町内会長・自治会長の皆様や区内企業、区内活動団体等の皆様との意見交換会を開催させていただきました。大変多くの方から参加いただき、貴重なご意見を賜りました。意見交換会の内容について、以下で一部紹介いたします。

今後、地域協議会では、アンケート結果や意見交換会で皆様からいただいたご意見を基にさらに検討を重ねてまいります。

区内企業等との意見交換会

令和4年8月24日(水)開催

委員 小松 光代

対象者は、区内の官公庁や企業等にお勤めの皆様ということで、区外にお住まいの方の参加もあり、様々な角度から安塚区について語っていただきました。

当日いただいたご意見の一部を紹介いたします。

◎安塚区には、キューピットバレイススキー場、雪だるま物産館、リバーサイドロード、手作りのイベントなど、数多くの財産がある。人を呼び込むことができるソースはたくさんあるが、アピールが不足している。情報発信を上手に行い、安塚区に多くの人を呼ぼう。

◎雪は大きな魅力である。非日常を味わえる雪上キャンプなどの体験を提供してはどうか。

◎大きなものではなく、小さな拠点として、オープンガーデンや喫茶店など、小さな単位で集える場所をつくってはどうか。

◎声をかけてもらえれば、地域

振興局等の関係職員も行事や祭りに参加するので、ぜひ声をかけてほしい。

住みやすい安塚につながる貴重なご意見をたくさんいただくことができ、有意義な意見交換会となりました。



区内活動団体等との意見交換会

令和4年9月5日(月)開催

委員 池田 康雄

安塚区内で活動されている13団体等の皆様との意見交換会を開催させていただきました。いただいたご意見の一部を紹介いたします。

活動するうえでの困りごとについて、「会員の高齢化が進み、子育て世代は特に余裕がなくて参加が難しい」という意見や「中間にあたる世代は、人数が少なく、引き受け手になることができにくい」といった意見が挙がりました。活動を将来にわたって受け継いでいけるよう、世代間の交流の機会が必要であると思います。

地域協議会が実施したアンケート結果について、「除雪対策に関してもっと深掘りすべきである」という意見や「住民と行政に距離感がある」、「Uターン・Iターンが意外と多いのは、安塚区の魅力に気づいた人がそれだけいるということではないか」といつ

た意見が挙がりました。

地域の宝・残したいものについて、「リバーサイドロードの桜、キューピットバレイススキー場、菱ヶ岳、城山の歴史、四季の祭り、夏と冬の花火、田舎料理、雪室」など、大変多くの意見が挙がりました。災害の少ない、住んで良しの安塚区に変えていく取組が大事であると思います。



高田高等学校安塚分校生徒・安塚中学校生徒との意見交換会

令和4年9月26日(月)開催

令和4年9月28日(水)開催

副会長 石田 ひとみ

高田高等学校安塚分校2・3年生18名、安塚中学校全校生徒32名の皆さんとの意見交換会を開催させていただきました。

生徒の皆さんは、今まで地元のことをあまり考えたことがないと言っていました。今回自分の考えを声に出して、どうすれば安塚区が住みやすい地域になるのか、真剣に考えてくれました。10代の目から見た安塚区の自然に対しての思い入れや身近で感じている問題点を知ることができました。この思いを受け止めて、住みやすい安塚区にしていきたいと思いました。

意見交換会の開催にあたり、ご協力いただいた各学校の先生方、関係各所の皆様に深く感謝申し上げます。



町内会長・自治会長との意見交換会

令和4年9月30日(金)開催

委員 新保 良一

地域協議会では、人口減少や少子高齢化が進行する中、これを少しでも食い止めることが喫緊の課題であると考え、皆様方にご協力いただいたアンケート結果を参考に町内会長・自治会長の皆様との意見交換会を開催させていただきました。

いざ話し合うと言っても、それほど難しい問題はありません。町内会長・自治会長の皆様は、集落内の実情を一番把握されているため、現状の課題や課題に対する改善案等をお聞きすることができました。

住民の行政に対する関心度、住民サービスのあり方、祭りや行事への参加意識、日常の会話、安心して暮らすことができるまちづくり、若い人の定住につながる雇用の場の創出など、本当に様々な意見を伺うことができました。ま

だまだ手探りの段階ですが、皆様からいただいたご意見を参考に検討を重ね、皆様とともに今以上に住みやすい安塚を実現できたらと思っています。



「大・浦・安」地域協議会委員研修会について

令和5年2月17日（金）開催

委員 池田 裕夫
委員 中村 真二

2月17日（金）、安塚コミュニティプラザにおいて、「大・浦・安」地域協議会委員研修会が開催され、「中山間地域のまちづくりに関して地域協議会に期待すること」というテーマで、小田基史副市長から講話をいただきました。

小田副市長からは、第7次総合計画や各条例などを背景とした市の考え方や取組などを、わかりやすく丁寧な口調でご説明いただきました。

また、小田副市長の個人的な哲学として、「人を変えるにはまず自分が変わる」、「新しいものを受け入れる気持ちを持つ」、「当たり前前のことをバカにせずしっかりとやる」といったようなお話もありました。

コロナ禍において、研修会を企画することも難しい時期もあり

ましたが、こうして無事に開催され、少しずつ元の日常に戻っている実感もいたします。地域協議会委員として、今後もさらに頑張って活動していきたいと思っております。

